

## 「ご家族がご利用者になる時」

---

先日、長く福祉用具を利用されていた方のサービスが終了となった。少し経ってケアマネージャーから、今度は、ご家族が福祉用具を利用したいと相談があった。終了となったご本人や、ご家族と長くかかわりがあったため、ある程度の状況はつかめていた。

ご自宅に訪問すると「今度は私が使う番になっちゃったわね…」と少しさびしい表情でおっしゃったのが印象的だった。「でも、お父さんの時に親身なってよくしてくれたから安心していきます。」とのことだった。

こういうケースは珍しくないというよりも最近は多くなってきていると感じる。高齢世帯の二人暮らしで、どちらかの介護が終われば次は私の番とご家族として関わってきた方を今度は、ご利用者として関わることになる。長くご本人やご家族とかかわればかかわるほど、いつまでも元気で過ごしてほしいと思ってしまう。

だから、「ご家族」から「ご利用者になる時に少しさびしく思ってしまう。(2018年10月)

